

正 誤 表

誤 植 箇 所

誤

正

- 六 頁五行目下より十字目
- 一四頁七行目最 下 字
- 二九頁九行目下より二字目
- 三八頁八行目上より六字目
- 四七頁九行目下より八字目
- 六二頁一行目上より十七字目
- 九四頁八行目上より十四字目
- 九九頁十一行目上より十四字目
- 一〇〇頁八行目下より三字目
- 一一六頁三行目下より六字目
- 一二七頁一行目最 下 字
- 一二九頁六行目上より十七字目
- 一四六頁一行目上より八字目
- 一五二頁十行目上より十一字目
- 一五六頁十二行目下より七字目
- 一七四頁 註 八 十 四
- 二二三頁 註 八 十 八
- 二四二頁下欄五行目上より七字目
- 二六五頁下欄十六行目下より七字目

何とも言へず
足がすれずれ
居られ素
顔も
また彦六座が
宙吊りの早替り
若様の若猿之助
全部しました
少しくは
冷い食物
やりましたから
首を見えてへんが
そのれ、方の處へ
その外も
私の左遣ひも
一段で
大正三年
活歴凡
竹本柳適大夫

何とも言へぬ
足がすれすれ
居られた素
顔も
まだ彦六座が
宙吊りや早替り
若狹之助
全部出ました
少しは
冷い飲物
やりましたら
首を見てえへんが
その方の處へ
その外も
私に左遣ひも
一段の
大正四年
活歴風
豊竹柳適大夫

(寫眞之部)

第一一七

(津大夫・道八)

(源大夫・仙糸)

第一六と第二七の寫眞挿入箇所並